

盲導犬を普及させる会

ニュースレター



発行：「盲導犬を普及させる会」
〒271-0092
千葉県松戸市松戸 1813-1-905
TEL 090-8003-7790
FAX 047-711-9988
info@modokenfukyu.net

学校盲導犬講演（県立松戸高等学校）



（講師：松井進）生徒さんからジョパンニ君にプレゼント・秋元校長と松戸市社会福祉協議会福祉教育サポーターと当会スタッフ 校長から「盲導犬の講演がこんなに楽しいものだとは思わなかった」とのお言葉をいただきました。

以下は千葉県立松戸高校からの人権教育講演会の講師について（依頼）文の抜粋です。

人権教育につきましては、高等学校学習指導要領において道徳教育として教育活動に全体を通じて行うものとされており、本校でも、現代社会を生き抜く上で不可欠の課題として取り組んでいるところです。特に、視覚障害及び盲導犬の現状に関する知識は、共生社会の実現に欠かせないものであり、高校生が自分事として触れて、感じて、考えることのできる機会は大変重要であると考えております。テーマ「視覚障害と盲導犬の現状について」



募金箱設置募集中



西澤ラッキー君

新しい盲導犬とのスタート！（松井進：インタビューア－中内） 今回で 5 頭目となる盲導犬貸与に向けた訓練を、ひたちなか市のいばらぎ盲導犬協会の施設で受講しました。訓練は約 2-3 週間の間、施設でパートナーとなる犬との共同生活で様々な練習と犬との絆を構築、そこから在宅で数日訓練後、卒業試験の合否が決定します。私のパートナー候補は F1（ラブラドルとゴールデンレトリバーの 1 世代目の雑種）2 歳の女の子で名はウパム。朝 6：00～犬の排泄や食事、生活の中で起こる様々な出来事を一緒に経験していきます。中でも排泄の訓練でワンツーベルトを使用するのですが、前のパートナー犬が男の子だったこともあり、ベルトの装着位置の違いや、ウパムもベルトに慣れていないことで排泄ができるまでに時間が掛かってしまい四苦八苦。盲導犬は「何でもできる！」と思われがちですが、盲導犬といえども場所や人が変われば全てが初めての事ばかり。「ドアを探せ」という指示で犬は一生懸命に探しますが時間が掛かってしまうこともあります。でもそんな時はできるだけ待つ！先ずは人が「きちんと指示」をだし、できたら褒める！根気強く向き合い、犬を沢山褒めてほめて覚えてもらうことが重要なのです。私のウパムも性格的に「褒めて伸びるタイプ」なので、これからの成長が楽しみです。施設を出て在宅訓練でも協会の人の監督の元でしか外出はできません。それほど大切な盲導犬との訓練なのです。そんな努力の甲斐もあり、見事合格！今ではウパムと日常を楽しく過ごしています。出張のある仕事なので早く一緒に行きたいですね。

国際盲導犬連盟（IGDF）の2018年度年次報告書の実働頭数集計によると、英国は5000頭弱、米国1万頭弱、オーストラリア1000頭超、フランス1000頭超、ドイツ約500頭、日本は2009年度の1070頭をピークに（2022.3.31現在）848頭と頭数が減少しています。その理由としては、高齢化したユーザーが亡くなり、病気などで「代替」犬を望まないケースがありました。また個人情報の問題で直接視覚障害者の方にこちらから盲導犬の情報を提供しづらいなどから新規ユーザーの数が伸び悩んでいることなどがあげられます。そんな中、今年2月に5頭目の盲導犬入手のために一般財団法人「いばらき盲導犬協会：茨城県ひたちなか市」で合宿訓練に入った当会の盲導犬ユーザーの松井さんを訪問し、地元松戸での歩行指導員による歩行訓練に同行できたことは大変有意義な経験でした。また学校盲導犬講演では松戸市社会福祉協議会から福祉教育サポーターをご紹介いただき当会のスタッフ不足をサポートしていただいております。

盲導犬を普及させる会の「もっと増やそう盲導犬」の標語を実践すべく、ここ数年コロナの影響で開催を躊躇していた盲導犬ユーザーの掘り起こしを目的とした盲導犬体験フェアの開催を関係個所に声掛けをしていきたいと思っております。

● 第25回総会開催案内

1. 総会日程並びに会場

開催日時 2023年4月23日（日）9時半～12時

開催場所 松戸市民劇場（松戸市本町11-6）第3会議室

総会当日出席できない方でご意見のある方は電話またはFAXで事務局までご連絡ください。ご欠席の方はすべての議題に委任頂いたものとして決議させていただきます。

2. 2022年活動報告

①小中高等学校での盲導犬講演（3か所）

②多機能トイレの補助犬使用に関する松戸市・東京都他との交渉

③県内身体障害者補助犬のサポート（予防薬）

④千葉県獣医師会との補助犬助成に関する交渉

⑤盲導犬訓練所のサポート

● 2023年主な行事予定

1/29 盲導犬を普及させる会役員会・監査会

2/13 いばらき盲導犬協会表敬訪問

2/20 松井進氏松戸市内歩行訓練立ち合い

3/19 ニュースレター校正

4/9 ニュースレター送付 松戸市民劇場第一研修室9:00～

4/23 盲導犬を普及させる会総会（松戸市民劇場）

10月頃 第26回盲導犬チャリティコンサート：松戸駅西口デッキ

11月頃 盲導犬体験フェア

県内身体障害者補助犬のサポート（予防薬）

協力いただいている県内補助犬卒業訓練所への支援：東日本盲導犬協会（宇都宮市）・いばらき盲導犬協会（ひたちなか市）・日本盲導犬協会（横浜市）・アイメイト協会（練馬区）・日本補助犬協会（横浜市）・兵庫介助犬協会（西宮市）

令和4年度決算

収入の部		支出の部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	5,065,124	活動費	62,000
京葉銀行定期預金	2,032,833	学校講演等講演料	12,000
京葉銀行普通預金	26,869	雑会費・寄付金	50,000
郵便貯金	2,954,624		
手持ち現金	50,798		
利息	24	事務局運営費	343,405
京葉銀行定期預金	24	ホームページ運営費	43,660
京葉銀行普通預金	0	倉庫保管料	40,000
		事務局費	83,057
会費	140,000	通信費	122,871
個人会員	80,000	消耗品費	18,488
賛助会員	60,000	支払手数料	16,179
		保険料	2,650
寄付金他	509,697	雑費	16,500
寄付	245,005	小計	343,405
協賛金	30,000		405,405
募金箱	166,692	次年度繰越金(盲導犬導入資金を含む)	5,309,440
グッズ販売	0	京葉銀行定期預金	2,032,857
参加費	0	京葉銀行普通預金	14,508
講演料	68,000	郵便貯金	3,209,692
		手持ち現金	52,383
合 計	5,714,845	合 計	5,714,845



入店可シール貼付をお願いします。



ホームページ



2022年12月21日の午前中、私は盲導犬「ジョバンニ」と一緒に県立松戸高校にて盲導犬について講話をして来ました。今まで約7年間パートナーだった「ジョバンニ」の引退が決まっており、これが最後の学校での講話の活動でした。

盲導犬を普及させる会では定期的に小学校を中心に講話活動を続けています。その内容はクイズを通して盲導犬についてはもちろん、その使用者である視覚障害者の暮らしについてや、アイマスクを付けての視覚障害の擬似体験、視覚障害者の誘導方法の体験、そしてビデオを使用して盲導犬の仕事の様子を見てもらう活動をしています。小学校では4年生を中心に福祉の事業があり、その関連でお声をかけていただくことが多いのですが、今回は12月9日が「国際障害者の日」であり、この日を中心に障害者週間の各種イベントなどが開催されています。その関連もあり、県立松戸高校からは「障害者と人権」を中心に話をして欲しいという依頼でした。もちろん視覚障害者の暮らしや盲導犬のお話もさせていただきつつ、私が経験してきた「挫折」を幾つか紹介しました。例えば先天性の弱視として生まれ、一般校で弱視教室の支援を受けつつ学んでいたものの、視力の低下で盲学校に行かなくてはならなくなってしまったことや、盲学校で点字を指先で触れて読めずに苦労したこと、コンピューターのプログラムを学ぶため米国に留学したところ、今後はキーボードからのプログラム言語の入力ではなく、画像処理を中心としたGUI（グラフィカルユーザーインターフェース）が当たり前の時代が来ることを知った私は、プログラムを開発する側になることをあきらめ、活用して行く側になることを決断したことなど、様々な挫折談をご紹介しました。そして自立をするということは、すべてを一人で行うと考えられがちですが、人の力を借りながら結果として社会に参加することは「立派な自立」というお話をしました。経済的に自立というと、少しでも多くお金を稼ぐことにフォーカスされがちですが、金額の多寡ではなく、社会に貢献していくことが大切だというお話をしました。私は目が見えないため犬の力を借りて歩いていますし、文字を書いたり読んだりするのはパソコンやスマートフォンなどの補助機器を活用しています。そしてそれでも自力でできないことは沢山あり、人に援助を求めて何とか生活しています。努力すれば自分でできることをやるのはもちろんですが、努力しても難しいことは、人の手を借りて結果としてできればそれは十分に自立していることになるという経験談を伝えたかったです。今社会は勝ち組と負け組の様に2極化していますが、私の様に障害があっても、人の力を借りるのは恥ずかしいことではないですし、いろいろな人の力を結集して結果を出せばそれで良いと考えています。盲導犬はまさに私が自立して歩くことを助けてくれるパートナーですが、友人や同僚、家族など、支援者も周りにはおり、ボランティアもその一つの形です。自分ができることをできる形で行えば良いし、自分ができないことを嘆くよりも、できることを精一杯行えばそれで良いという考えが伝わるように皆さんにお話しました。拙い私のお話で多感な高校生にどこまでお伝えできたかは甚だ自信はありませんが、見えない人でも実際に仕事を持ち、周囲の協力を得ることで活動できるのだということを曲がりなりにもお伝えできていれば嬉しく思います。そして障害があっても挑戦するチャンスが与えられ、社会参加と平等が実現できる社会にするためには、若い皆さんに障害者は当たり前の社会で生活している仲間だということを受け入れ、少しのサポートや支援があればともに生きて行けるのだということをお伝えできれば幸いです。なお、この日は講話の後、生徒代表の方からお礼の挨拶とお花をいただいたのですが、「ジョバンニ」にもサプライズのプレゼントがありました。骨の形の牛皮で、これは引退後にジョバンニに食べさせたいと思います。ということでジョバンニとは今までいろいろな学校に訪問してきましたが、犬用のプレゼントをいただいたのは後にも先にも初めての経験で、最後に印象に残る講話でした。

感想文 千葉県立松戸高等学校 1年Fさん

今回体験をして最初、道が見えていてガイドも人だったのに、思うように動けず、とても恐怖を感じました。このガイドを犬がしているのに驚いたと同時に盲導犬のすごさを改めて実感できたとてもいい経験だったと思います。ありがとうございます。



リタイアした
ジョバンニ君：
先住犬と仲良
く散歩したり、
並んでお昼寝
しています。



誰に対しても友好的で
優しいジョ
バン君のお陰
で犬友が増
えました。

ボランティアを募集中

★交流会・チャリティコンサートの手伝い

★体験フェア・学校講演の手伝い

★問い合わせ先：090-8003-7790 振込先：郵便振替 盲導犬を普及させる会 00150-1-658055

会員・募金箱設置者募集中

個人年会費 ￥1,000-

賛助年会費 ￥10,000-



盲導犬を普及させる会 松戸市議会議員関根ジロー 全国に広がる、多機能トイレへの「welcome! ほじょ犬ステッカー」貼付のその後

「盲導犬を普及させる会」では、厚生労働省作成の「welcome! ほじょ犬ステッカー」を、多機能トイレに貼付し、補助犬ユーザーが多機能トイレを使いやすい環境整備を図る取り組みを行っています。

「盲導犬を普及させる会」ではこの取り組みを全国に広げることが目的に、超党派地方議員にSNS等を活用し呼びかけ、全国から33名の議員が参加するオンラインによる意見交換会を2021年6月7日に開催しました。意見交換会のなかで「各地方議員が、各地方議会での質問などを通じて、自治体管理の多機能トイレに『welcome! ほじょ犬ステッカー』を貼付することを促す」とことになりました。

勉強会に参加した地方議員たちは各地方議会で環境整備を訴えました。指摘をうけ、千葉県、松戸市、柏市、浦安市、東京都墨田区、埼玉県吉川市、入間市、宮城県仙台市、兵庫県伊丹市、宝塚市、高砂市、加古川市、三木市の各議会でこの問題が取り上げられました。千葉県はすぐに調査や出先機関、警察署の入り口や多機能トイレに補助犬マークを貼付するように依頼、仙台市でも市営地下鉄や公園、博物館などのトイレで貼付が進みました。また、松戸市においても、市が管理する全ての多機能トイレに補助犬マークの貼付がされました。

2022年9月9日に「盲導犬を普及させる会」として東京都に対して「東京都管理の多機能トイレに『welcome! ほじょ犬』ステッカーを貼付すること等を求める要望書」を提出しました。竹井ようこ都議会議員(小平市選出)が本件について都議会で小池都知事の見解を質したところ、まずは都庁の多機能トイレに「welcome! ほじょ犬」ステッカーを貼付し、今後、貼付箇所を増やせるように検討する、ということになりました。

今後とも、多機能トイレを補助犬ユーザーが使いやすい環境整備に向けて、全国の公・民設の多機能トイレに「welcome! ほじょ犬ステッカー」の貼付が広がるように力を尽くします。



(東京都福祉保健局 障害者施策推進部 共生社会推進担当課長に要望書を提出) (介助犬ユーザー西澤&ラッキー・竹井都議・関根松戸市議・篠都課長・森)



歩行指導員と松戸市内でウパムちゃんと歩行訓練

自動ドアのボタンの位置を知らせる

ワンツールベルトを使って多機能トイレでの排泄訓練頑張ってますね ♡

ご支援ありがとうございます。(敬称略) 近年会員数減少により、会運営に支障が生じています。年会費千円ですが、是非お知合いの方を紹介してください。＜賛助会費＞安藤じゅん子、今村正、イワブチ(株)、渡新工業(株)、剣持英子、ペリガ-イゲルム、ムアミル、パパン＜寄付金＞花嶋みつえ、染谷欣子、高橋清江、帰山吉弘、齋藤蓮子、長谷川容一郎、大山享子、吉岡美世子、八代大三郎・八千代、道端久美子、片倉悦子、中村明雄、幸田裕美、森俊士、上野京子、おさんぼ動物病院、鈴木捷恵、丹澤明子、三瓶芳子、吉田仁、板真奈美、田沼香代子、小坂橋病院、海野暁子、松澤廣治、海老原八重、野田英子、フランカム優子、スズキタカエ、小坪淳志、戸松美佐子＜協賛金＞セキハウス(株)＜募金箱＞五井動物病院、どんぐり動物病院、宮島齒科、森動物病院五香本院、森動物病院みのり台病院、小坂橋病院、エコルスタはり・きゅう整骨院、東京軒、小金原動物クリニック、剣持英子＜講演料＞昭和学院小学校、松戸市立松飛台第二小学校、千葉県立松戸高等学校、松戸市立高木第二小学校